

統合賠償責任保険



宿泊業のみなさまの 賠償責任保険



2022年10月改定

宿泊業のみなさまを取り巻く賠償リスクをまとめてカバーします!!

●宿泊施設 他人の身体の障害や財物の損壊等



●調理場でガス爆発事故が発生したため、お客さまがケガをし、近隣の家屋も壊してしまった。

損害額 9,500万円

さらに

損壊した近隣の家屋の修理費が時価額を超えてしまい、所有者から修理費の全額を請求された。

損害額 100万円


●部屋の鍵が壊れていたため、お客さまが部屋に置いていた荷物が盗まれてしまった。

損害額 8万円


●ランドリーワゴンを運んでいる際に、誤ってお客さまの子供にぶつかり、大ケガをさせてしまった。

損害額 60万円

さらに

事故発生後、今後の対処について弁護士に相談した。

かかった費用 5万円


●食事の提供後 他人の身体の障害や財物の損壊



●提供した食事が原因で集団食中毒を発生させてしまった。

損害額 6,000万円

さらに



食中毒の原因を調べるために検査を行った。

損害額 5万円

●その他の賠償事故



施設のエレベーターの故障によりお客さまを閉じ込めてしまい、慰謝料を支払うことになった。

損害額 15万円

●被害者治療費



ホテル内の階段からお客さまが滑り落ちケガ。法律上の賠償責任は発生しなかったが、その治療費を弊社の同意を得て支払った。

損害額 10万円

賠償リスクだけでなく、こんなリスクも...

●被害に遭われた場合の賠償請求



酔った宿泊者が、部屋の壁や備品を壊したが賠償に応じられないため、弁護士に依頼し、損害賠償を請求した。

かかった費用 90万円


温泉施設のコインロッカーが何者かにピッキングされ、10名のお客さまの財布が盗まれた。法律上の損害賠償責任は発生しなかったが、1人につき1万円の見舞金を支払った。

損害額 10万円

●クレーム等対応費用の補償 ●サイバー・情報漏えい事故の補償 につきましては、別途チラシやパンフレットをご参照ください。

裏面の補償内容でこれらの事故がまとめてカバーされます



